

伊豆シャボテン動物公園

残暑厳しい中、秋の訪れを告げる 「パンパスグラス」が見頃に！

2020年8月17日

株式会社伊豆シャボテン公園



※2020年8月14日(金)撮影

パンパスグラス

【学名】 *Cortaderia selloana* 【英名】 Pampas grass 【和名】 シロガネヨシ 【分類】 イネ科シロガネヨシ属

伊豆シャボテン動物公園では、園内のピラミッド温室付近と、公園入口から駐車場にかけてのエリアに植栽している「パンパスグラス」が見頃を迎え、残暑厳しいなか早くも秋の訪れを告げています。「パンパスグラス」は10月頃までご観賞いただけます。

当園の「パンパスグラス」は、入口から駐車場にかけて約30株と、園内に約30株の合計約60株が植栽されています。今年は梅雨の時期が長く、長雨と低温から開花の遅れが心配されましたが、梅雨明け後の猛暑の影響もあり平年どおりの開花となりました。現在は園内半数以上の株が開花し、花穂丈は1.5メートルから2メートルほどになっています。

「パンパスグラス」の花期は9月～10月、草丈は1～3mで、羽毛状の花穂は40cm～80cmになります。原産地はブラジル・アルゼンチン・チリなどで温暖な草原地帯に生えているため、東北や北海道などの寒い地域では越冬ができない珍しい植物です。